

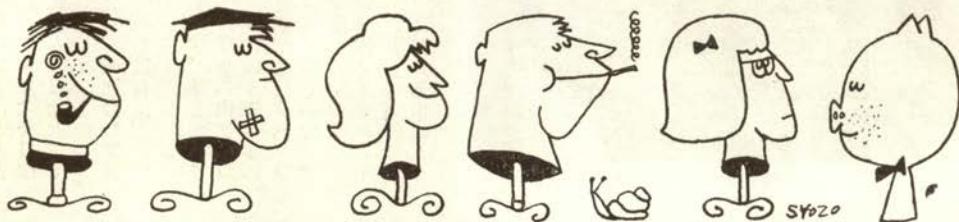
★座談会★

神戸っ子が語る

現代学生気質

□司会□ 古林 喜楽（神戸大学教授）

□出席者□ 松原新一（京都大学卒 文芸評論家） 石浜みか子（神戸女学院英文科 4年生）
十河英二（神戸大学経営学部 4年生） 多木靖司（甲南大学経営学部 3年生）
山中英雄（関西学院大学商学部 2年生）



——今日は、若いみなさんにお集まりいただきまして、学生生活について、あるいは、今の世の中に對する不満や意見などを、大いに放言ねがいたいと思います。

古林 それでは、はじめにみんなの自己紹介を聞かせてもらいましょうか、まずレディファーストで、あなたから、どうぞ……。

石浜 私、神戸女学院の4年生で専攻は英文科なんです。ほんとうは今年卒業なんですが、去年1年間、イスラエルの方へ留学していましたので、そのため、もう1年間勉強することになりました。(笑)

古林 イスラエルでは、何を研究して来られましたか。

石浜 社会福祉関係と農業を中心とした協同組合関係の研究です。ちょっとと話がかたくなりますけど今、日本でよく農業の構造改善などと言われてるでしょ、ああいうことなんか、とっても興味ある問題なんですね。

松原 イスラエルで何とかいう協同体のようなのがありましたね。石浜 ええ、キブツっていうんです。私は、4ヶ月間その組織の中で生活しましたが、半日は果物もぎや子供の世話やお皿洗いなどをして働き、後半日は研究所へ通つてヘブライ語などを勉強してきました。

十河 僕は大阪出身ですし、豊中に住んでますので、神戸っ子とは言えないんですけど……。しかし、神戸はいいところだと思います。海あり山ありで立地条件がすばらしいですね。神戸大学の経営学部4年です。応援団の団長をやつております。応援団の顧問が古林先生ですから、いつもお世話になつ

て
ひ
ま
す。

古林 そうすると、経営学部が2

石浜 割合にありますね。4年生

48

多木 甲南大学の経営学部3年生です。住いは東灘区なんです。クラブではブラジル研究会といいまして、ブラジル移民の研究などを主にやっているんですが、何しろ、遠い所ですので資料が少いという懶惰さもあるんですが、みんなはりきりって海外遠征といううことに心を燃

す。

山中 関西学院大学商学部2年、
山中です。クラブ活動は、講演部
に入っています。一般的には弁
論部と言われていますが、
この部に入ったいきさつといいま
すと高校時代、受験勉強していく
した時に、あることを考えて、自
己の思想を確立しないといけない
と思ったことがきっかけでした。
芦屋高校の頃から芦屋に住んでい

多木 現在35名です。略してプラ研と言つてます。学生の内にプラ研もやつたり(笑)楽しいです。ジルへ進出しようといふ者が多いであります。同じジラ研でも三ノ宮プラ研もやつたり(笑)楽しいです。古林 早稲田や慶應大学の学生など、在学中に、団体でメキシコやアメリカへ行つたりして盛んですね。関西地方では海外進出はどうですか。

ます。神戸にはいつも来ています。松原 京大の教育学部を今年出したところなんです。今の学生には小田実さんの「何でも見てやろう」風の、非常に広い視野を求めて外へ出ようとする健康な精神があると思うのですが、残っては、

「何でも見てやろうかと思つても、第一にお金のことを心配したんですよ（笑）だから、学生の頃は、友達の下宿を行つたり来たりして議論やけんかにあけくれした、とても貧しい毎日でしたねえ。」

学校では教育学をやつてたんですねが、今は、全然関係のない文芸評論という仕事をしております。大体、文芸評論とか文学というのについては最も有害な仕事だと思ふ。

ますか。(笑)
——松原さんは「群像」の文芸評論で、本年度新人賞を受けられて
います。——



十河英二君



多木靖司君



松原新一さん

市電の中でたくあんを食べる

古林 話題を変えまして、新卒の松原さんに、純真な目でご覧になつた、現代の学生についてのご意見などお聞かせ下さいな。

松原 自分の体験のエピソードなんですが、学生運動とか、クラブ活動で若さのエネルギーというのを発散できる人は別として、情熱のはけ口として、人がやらないような事をやる勇気を試し合つたなんていう事もありましてね。

例えば、京都の市電の中で、多勢の人が乗っている中ですよ、大きな、たくさんを食べられるかど

神戸大学の場合、ブラジルへ渡る学生には奨学資金も出でていますし、あちらへ行けば必ず就職先もありますから、年に2、3人ずつは就職して行っているようですね。南米銀行の創設者は神戸大学の古い卒業生なんですよ。

石浜 割合にありますね。4年生の時に1年間十分に準備しておいて、卒業と同時にオーストラリアへ女の子ばかり4人で親善旅行に出掛けたという例もありました。

古林 そうそう、帰つて来られてから、私もお話を伺いましたよ、たいへん活躍してこられたそうですね。

古林 外国へ行つたきり、戻つて来ないという人もあるそうだが、この間慶応の学生で、今年卒業というのに、卒業式まで帰つて来られなかつた、それでどうしても卒業式気分を味わつてみたいというので、早稲田大学の卒業式にまぎれ込んで気分を味わつたなんていふ面白い話があるそうですよ。(笑)

神戸大学の場合、ブラジルへ渡る学生には奨学資金も出でていますし、あちらへ行けば必ず就職先もありますから、年に2、3人ずつは就職して行つてゐるようですね。

南北銀行の創設者は神戸大学の古い卒業生なんですよ。

市電の中でたくあんを食べる

古林 話題を変えまして、新卒の松原さんに、純真な目でご覧になつた、現代の学生についてのご意見などお聞かせ下さいな。

松原 自分の体験のエピソードなんですが、学生運動とか、クラブ活動で若さのエネルギーというのを発散できる人は別として、情熱のはけ口として、人がやらないような事をやる勇気を試し合つたなんていう事もありましてね。

例えば、京都の市電の中で、多勢の人が乗つてゐる中ですよ、大きな、たくさんを食べられるかど

うかで二千円の賭をした友達がいましたね。(笑) 僕はその2人について市電に乗ったんですが、市電のど真中にどっかと腰かけて、その男は、前に妙齢の女性が3、4人も並んでる前でボリボリ食べ出したんです。最初は見て見ぬふりをしていた彼女達もあっけにとられ席を移してしまいました。もう一つ、学校の門の前で、みんなを集めて来て、小便をやらないかというプランも出て、まあ、こっちの方は実施しませんでしたが(笑) こういう2つのケースをいわゆる病的な傾向だといいう人もあらし、非常に納得できるといいう人もありますが。結局、自分の青春を賭けて生きるという、その対象が見つからぬ、目的を求めてなあ得られないといいう状態なんですね。

“女子にさえできないことが男子にできるはずがない”

古林 近頃、女子学生の数が増えてきたようですね。一学年で6、7人位いました。文学部で全体の4分の1位でしょうね。

古林 神戸大学の文学部では女子が半数を越しましてね。女子の方が入試の成績も、学校での成績もよく、上位はみな女子学生がしめています。卒業式の右端代も女子でしね。今頃では「女子にさえ出来ないことが男子に出来るはずがない」という言葉が流行ってるそうですよ。(笑)

古林 近頃、女子学生の数が増えてきたようですね。一学年で6、7人位いました。文学部で全体の4分の1位でしょうね。

古林 神戸大学の文学部では女子が半数を越しましてね。女子の方が入試の成績も、学校での成績もよく、上位はみな女子学生がしめています。卒業式の右端代も女子でしね。今頃では「女子にさえ出来ないことが男子に出来るはずがない」という言葉が流行ってるそうですよ。(笑)

サークル活動でも女子は男子と同等にやつておる、マンドリンクラブなんかでも、校庭で仲良く弾いてる風景をよく見ますね。私なん



古林喜楽教授

石浜みか子さん

山中英雄君

結婚の相手は美貌よりも健康で信頼のにおけるひと

古林 学生時代に話がまとまるといふ人が共学でないことをのぞんで入つてると思いますので。その代り、校外のダンスパーティや

十河 僕自身、結婚ということに對して疑問を抱いてるところです。アルバイトで家庭教師を行っている家庭で見る夫婦といふものが僕には分らないんです。子供達のためにやつきてとなつていて、自分達だけの世界がないように思え

て、男も女も愛し合つていて信じて結婚しても、途中で嫌になつてしまふかも知れないし。(笑)

長く続けられるものかどうか、疑問だらけで信じられないのです。

古林 十河君、僕なんか長う結婚生活を続ける方で、そんな風に言われるところと具合わるい感

合なんです。

(笑)

古林 先程、女学院では、他の学

校のダンスパーティに出掛けると言わましたが、交際をする学校は何処、と決まつてたわけですが東京じゃ、組合せが決まつてると

聞きましたがね。

石浜 特に決まつてませんけど、私が1年生の時でした。阪大の学生から私たちにデートの申込みがあつたんです。それで一度、合

同ハイキングに行つたことがありますが、次の年に学校側がちよつと渋い顔をし出したのでそれきりになりましたけど。

石浜 京大では同志社の女子学生と合ハイに行くようですね。そういうきつかけで意気投合して婚約結婚と進行する場合もあるとか。

古林 先程、女学院では、他の学

校のダンスパーティに出掛けると言わましたが、交際をする学校は何処、と決まつてたわけですが東京じゃ、組合せが決まつてると

聞きましたがね。

夫婦の味といふものは、若い諸君にはまだわからんでしょうかね。

何故、長続きするかといふと、やはり、世界中何處にもない、唯一無二の自分達で作り上げる家庭といふ信念に基づくと思います。いろんな波瀾万丈を越えてなお長くつづけられて来た夫婦生活こそ至上のものだと思いますね。家庭は子供を生み育てること、つまり人間づくりの場なんですね。

十河 そしたら結婚生活の中心は子供にあるんでしょうか。僕は、夫婦が中心であるのがほんとうじやないかと思うんですが。

松原 名前はちょっと忘れましたが、アメリカのある社会学者が、結婚についての「本に、『結婚とは子供を守ることを一つの目的として生まれた制度である』」ということを書いておりますね。その人上げたデーターによると、哺乳動物としての人間の女性は、本来の自然状態にあるなら子供は40人位産む能力があるそうです。(笑)子供を沢山生んだ方が、女性も長生きするとも言っています。

それからこれは笑い話ですけどねイギリスのバーナード・ショーがある人から相談を受けたんですよ。向うでは金曜日に結婚すると縁起が悪いといわれているけど、どうして金曜日に結婚してはいけないんでしょうか。するとバーナード・ショーが「君はおかしなことをいふね、何曜日に結婚しても、結婚に対して後悔しないことはないんだから、又、結婚しなくても後悔するものなんだから」と答えたそうです。(笑)

古林 諸君達の場合、は、自由に男女

女の交際ができるという上に立つた悩みなんですね。

十河 ええ、比較的、いろいろな女性と接する機会も多いですから例えば、ある女性と結婚しても、その後から、もっと素晴らしい人が出現しないとも限らないし。(笑)松原 そしたら日本中探さないと困るということになる。(爆笑)

十河 近頃の女性というと何か香港フラーのような感じがしますね。パツと目立つ恰好していくて、一瞬ひきつけられるけれど、中味は個性がなくて退屈です。美貌なんて皮膚の厚みにすぎないです。古林 それではちょっと伺います。が、みなさんの理想の相手は。想です。

古林 絶対に妻を裏切らない男とということについてはどう考えますか。

石浜 やはり、子供2、3人あっても暮らしていく程度でないと私は日本的な意味で生活を落として生きるということを考えたくないんです。人間としての生活にはある水準があると思うんです。

古林 よく分りました。それじゃ次に多木君はどうですか、結婚の相手として考える時、美貌は何番目位になりますか。(笑)

多木 僕は美貌といふことはあまり考えませんね。気が合うと、いうことが第一だと思ってます。

古林 そしたら、少々不美人でもかまわんですか。山中君はどうで

山中 僕はまだそういうこと考えていません。十五、六年さきです。

古林 松原さんは学生結婚と伺いましたが。松原 いやあ、僕達の場合2人とその後から、もっと素晴らしい人が出見しないとも限らない。松原 そしたら日本中探さないと困るということになる。

古林 どうにも仕方のない程惚れ合ってたというわけですね。(笑)ところでもし結婚したとして両親との同居という問題についてはどう考えますか、絶対に反対ですか。石浜 やはり信頼の出来る男性ですね。自分と共にこの人生を歩むことができるという信頼を途中で裏切るようなことのない男性が理想です。

石浜 やはり信頼の出来る男性ですね。自分と共にこの人生を歩むことができるという信頼を途中で裏切るようなことのない男性が理想です。それは新らしく生まれた夫婦けど、やはり親達の生活と自分達の生活の区別がなく、経済も一緒に考えますか、絶対に反対ですか。石浜 一概に反対とは言いませんけど、やはり親達の生活と自分達の生活の区別がなく、経済も一緒に考えます。それは新らしく生まれた夫婦などというのはいけないと思います。それは新らしく生まれた夫婦に対する人権を無視していることになります。多少の干渉はあっても、独立した夫婦単位の生活が守られるのがほんとうだと思いま

おんざら庵

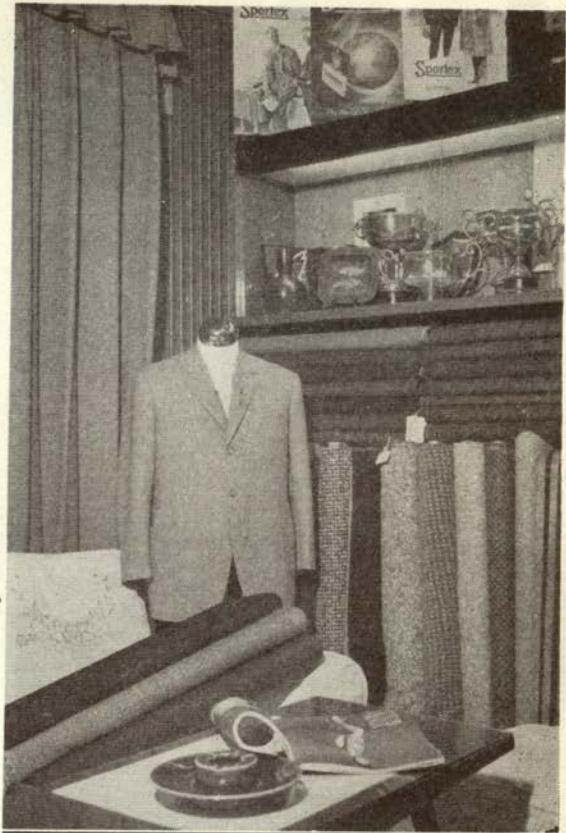


きものと細貨

神戸
東京

銀座店	新橋店	東店
東	西	店
店	店	店
新	新	新
橋	橋	橋
銀	銀	銀
座	座	座
店	店	店
新	新	新
橋	橋	橋
銀	銀	銀
座	座	座
店	店	店

小	L	L	東	西
松	(572)671	(3)③	店	店
ス	5	0	店	店
ト	1	8	新	新
ア	5	0	橋	橋
地	1	0	銀	銀
階	(代)	7	座	座



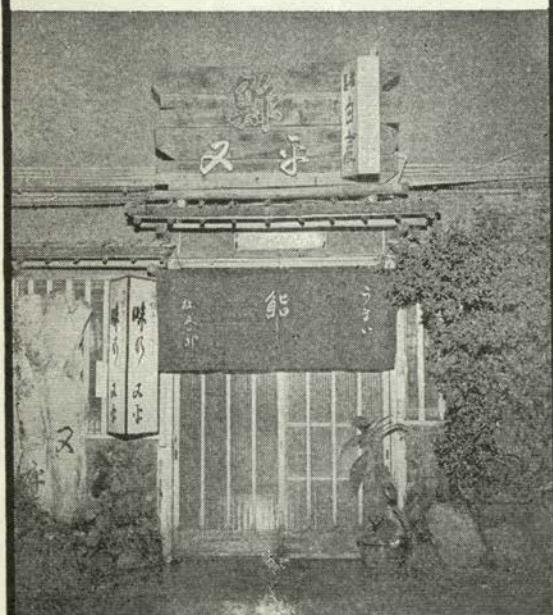
ご贈答にどうぞ

直輸入羅紗専門店・紳士服・婦人服

シマキ洋服店

神戸店 生田神社東門筋 ③7950・8055 ⑨2597
大阪店 北区梅ヶ枝町92ヤノシゲビル1階 (362)9515

神戸っ子の味覚に
ぴったり、又平の早馴れ鮓



□又平クイズ□答・林又一郎でした。
正解者・神戸市東灘区魚崎町 坂元三重子様他
10名様に商品引替ハガキを御送りいたします。

神戸三宮生田ノ社ノ西

鮓の又平

電話・三の宮 ③ 0935



松阪肉の炭焼きビフテキ
ヘレ肉のバター焼
伊勢海老料理・水だき



30名様前後までの ご宴会を承っております

ビーフレストラン 松阪

三宮・柳筋 TEL ③2155・2154

世の中の大人達に対し不満は感じないんですよ。政治家は特に自民党なんか嫌いですかねえ。

古林 ふーむ、そうですね。今の若い者には自民党のやつていることは受け入れられんのじゃないですか。君はどうですか。

山中 僕は天皇万才の方で（笑）自民党でもいいですね。友達仲間でも、こういふ考え方は僕ぐらゐのもんですが、別に今の政治に対して反撥は感じないんです。吉田茂さんに勲章が授けられたことも、吉田さんの今までの業績に対して当然だと思えます。

古林 そうですかねえ。多木君はどうですか。現代の大人についての批判は。

多木 融通性がないことが挙げられますね。もつと時代に即した考え方をして欲しいと思います。

古林 そこなんだね。頭脳の彈力性がないんですよ、われわれには（笑）いや、よう分つとるんですが、こりやもう年のせいはどうしようもないんだよ。（笑）

十河 僕もやはり、古い世代の人のものの考え方には彈力性がないことが不満ですね。それと、あまりに自分達の過去の歴史や想い出にこだわりすぎると思うんです。

古林 われわれの過去は非常に長く、未来はもうわざかなんだ。それと反して君達には未来がどつたりある21世紀まで生きて月世界へランデブーにも行きたいが（笑）

われわれ位の年になると、それと絶対に不可能なんですよ。だから、過去の歴史に想い出を求めるということになるんでしょうな。石浜 私は、明治生まれの人達にはある種の尊敬の念をもつてゐるん

です。古林 ほう、尊敬とはありがたや、ありがたや。（笑）

石浜 といういふのは、明治生れの人たちの、その行き方が正しかったかどうかは別問題として、自分自身を賭けて、日本の国の発展のためにやつて来たということは偉いと思います。

でも、大正と昭和の初期の頃に生れた人には抵抗を感じます。いろいろな面でこの年代の大人達にはビジョンがないし、理想もないんです。それで私達をどこへ導いて行こうとしているのかと思うんです。ビジョンがないから計画性とか組織的な動きが出て来ないんですね。日本という国が混沌としているのもそこににあると思います。

古林 若い人達からビジョンといふ言葉を聞くのはうれしいな、自分も若返ったような気がしてね。それで、今の政治で一番不満なことは言いますと。

石浜 やはり教育問題ですね。日本には teacher がいても educator がいないと思うんです。学科を教えることだけを取り上げますと、日本の教育の水準はとっても高いと思うのですが子供達が、自分の頭でものを考え、独自の考えをもつて教えることを取上げますと、欠けてるんじゃないですか。イスラエルの高校生達と話しあつたんですが、私の質問に対して彼等の意志を私は感じ取ることができたんです。自分達がイスラエルの國の為に将来どんな役割をするか、ちゃんと希望をもつて話していました。こういう若者達の抱つていく國には芯があると思うんです。日本の國の若者達もそうあり

ピンク・コーナー



プロ野球のN選手には、女性をしげりさせる性的魅力があるとい

うのがもっぱらの評判です。その第一の条件に彼の「胸毛」をあげる人がありますが、しかし胸毛といふものはユニホームを着ていては見えるものではありません。彼の胸毛に接する幸運に恵まれた女

人がありますが、しかし胸毛と長い顔にあると考へる。昔は鼻の大小とアルものの大さとに相関関係があるという人相術がはやったことがあります。ところが、この

方は浴場での厳重審査によって、迷信に過ぎないことがバクロされました。新しい学説では、鼻よりもむしろ顔の長短の方に相関関係があります。ところが、この

事は迷信に過ぎないことがバクロされました。なにしろ、馬といふ実例がありますからな。歴史的に見ても、神社の絵馬の絵になぜ馬が多いのか大いに研究に悩むといふえま

しょう。さて、N選手が愛用の太いバットをリュウリュウとしごいてバットをワクワクさせるのではないでしようか。長く太いバットは見事な男性のシンボルです。彼の打球ぶりを評して「巨砲」とは、いみじくもいつたものかな。（T）

たいんだけれど、青春を賭けてやることがあるかも見当がつかない有様なんだと思います。

古林 実際、日本の立場を考え日本人としてほんとうに生きていこうとする人間が少いということですね。

山中 そういうことがこの頃自觉されて来て、それで池田総理の言ふ人間づくりがクローズアップされてきたのとちがいますか。

石浜 日本の明治の人たちが持つていたあの意気というものを今日本に求めるのは無理かも知れませんが、イスラエルにはそういう意氣があふれているようですね。松原 僕も日本の民主党には絶望を感じていますね。爱国心といふことをやかましく言い出したのは疑問に思つていいことなんですね。ほんとうの爱国心といふのは今から作つて行くべきじゃないかと思うんです。偏狭な日本の視野などを捨てて世界的な視野でもつて。

私たちの愛する神戸のビジョンについて

古林 最後に、みなさんの目から見えた神戸のよき、将来のぞむことなどおききしまよしか。

松原 観光都市ということがなつてますが、それはそれでいいと見て、京都なんかに比べて、もっともっと文化都市としての充実を計つてもらいたいと思うのです。美術展覧会や音楽会などでも、神戸を素通りして行つてしまふ場合が多いし、とても残念ですね。ぜひ文化政策として考えていただきたい問題だと思います。

山中 何んといつても、都市整備を行つてほしいです。

多木 長い間住んでいますが、海あり山ありでほんとにいい街だと思つてます。不満なのは、やはり文化方面的自治です。夢のかけ橋やボートタワーも結構ですが、もと美術館などほしいですね。

十河 六甲台あたりの空気はすぐさまいいし、ゼミが終つて外に出ると、夜景が又すばらしくてね、神戸大学へ入つてよかつたと思ひます。心配なのは、神戸が将来どういう方向に発展してゆくかということです。観光都市として伸びゆくのか、それとも産業都市としてか、文化都市としてか、又国際都市としても、いわゆる総合的に発展するもいひですが、どこかにポイントをおいて当面のビジョンを作り上げてほしいです。

石浜 私は自分が生まれて育つた街といふことで、他の大きな都市に比べて、あまり抵抗を感じないから好きですね。神戸の市政においては、もう少し住宅のことを考慮してほしいと思います。マンモスアパートより少し規模の小さいのを山の手あたりにどんどん建て環境整備の方も同時にやつて、いただけたらと思うんですが。

古林 神戸は外国の観光客を迎える玄関口なんですよ。皆京都や奈良へ行つて神戸は素通り。外人の足を引きとめておくだけの魅力がないのが原因ですね。神戸にも、京都や奈良のような座敷を作つてもらいたいということを原口市長にお願いするということで結論といたしました。

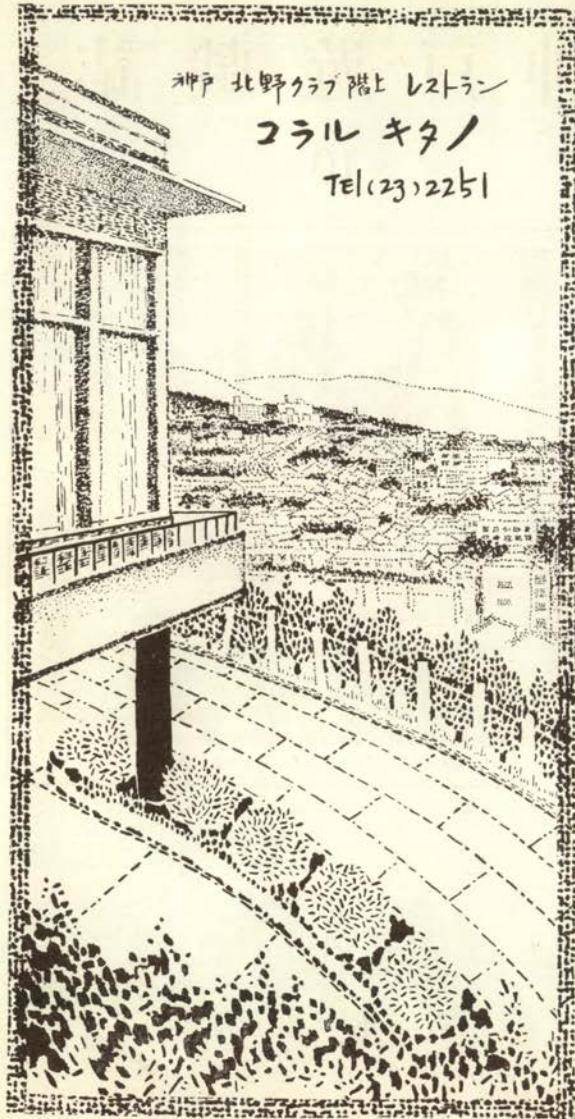
（神戸オリエンタルホテルにて）

ピンク・コーナー



日本ヌエという想像上の動物は、頭はサル、胴体はタヌキ、手足はトラ、シッポはヘビという組み合わせ。ギリシャ神話に出るカイミアラという動物は、シッポはウワバミ、胴体はなんだかハツキリしないが、ものすごいのはその頭で、ライオンと山羊とヘビといふ三頭立て。とにかく昔の人間は恐怖心のあまり、いろいろと強そな動物を集めて、その部分を組み合わせて、さらにより強い空想上の動物をつくり上げました。女性の肉体美を讃美したルネサンス時代には、組み合わせ動物のやり方をマネて、ひとつ飛び切り上等の美女をつくり上げてみようということになりました。こんな歌があります。「頭はペーメンの国から、二つの白い腕はプラファントから、お乳はシユバーベンから、ヤリのように突き出した二つの乳首はケルンテンから、お腹はオーストリアから、おシリはボーランドから、それにバイエルンのフレートがつきます。二つの足はライシングから、そういうのが美しい女でありますように」

「フレート」ってなんだって、ヤボなことは聞きっこなし。別の歌では「フランスからは女の小ヤブレ日本からこのオリエンタルに参加することになると、どんな部分を送ればよろしきや？」



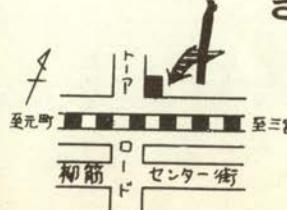
神戸 北野クラブ 階上 レストラン
コラル キタノ
TEL(23)2251

最高を誇る神戸肉!

鉄板料理定食
650円
土、日、喫茶
キャンドルタイム



Grill & Tea Room
バター焼
喫 茶
candle
きやんどる



クラス会・コンバ
¥650より
営業時間
AM12.00～AM1.00
神戸三宮トアロード
高架山側東角 399991

神戸遊戯誌

10



日の出撞球場で玉突きをする故火野葦平氏

ビリード

4

青木重雄

終戦後一番早く復活したのは、三宮にできた不二撞球場（阪神電鉄元町地下街）だった。昭和二十年十一月三日開店というから、まだ進駐軍が盛んに街を歩き回っていた頃で、進駐軍専用からいち早く一般人に解放されたものだった。続いて、二十三、四年頃には生田クラブ、加納町三クラブ、紅白撞球場（元町）、湊クラブ（同上）、名古屋クラブ（新開地）、日の出撞球場などが生まれた。昭和二十年暮れか二十一春に三宮生田新道山側にある大陸食堂の右側を北へ上がって間もなくのところにボーグライン愛好者専用の風変わりな撞球場があつたことも忘れられない。このメンバーの一人だった甲斐氏の話だと、仁井田とかいう土建屋さんの音頭取りで小屋が建たれましたが、お粗末な土間の上へだれが持ってきたのかボス台をたつた一台置き、入会金を取つて会費制で撞かしていた。店の名も会の名もない撞球場だったが、ボーグ

さんが一人いて毎晩十人近くの会員が集まつて楽しんでいた。甲斐氏と岸本一郎氏は常連、故河原、小方氏なども来ていた。なにぶん、敗戦直後のこととて万事お寒いありまで、停電がよく起きたが、そのつどアセチレンガスをつけたり、自動車のバッテリーから電気をついたり、苦心慘憺だった。だが、会員にとってはとても楽しい戦後の憂き晴らしだった。中國人の藩さん（現在、三宮で喫茶店「月光」を経営）なども混じっていたが、今日では想像もつかない食糧難時代だったことを思うと、なんだかいぢらしい氣さえせられる。だが、この秘やかな遊び場所だった建物も土地も間もなく売られてしまつた。同じ頃、生田街道の「ホワイト・ローズ」の向かい側に北鮮か韓国かの人が花園の美妓にやらせていた「梨花」という名の四つ球のビリード場があつたが、文子通り「梨花一朝」の夢で、その後この主人がビスト

ルで撃たれて死ぬと共に店も姿を消してしまった。

二十七、八年頃になると、三宮辺の玉突屋はしだいに昔の姿を取り戻し始めていろいろな客が出でたり出した。昔の客も顔を現わしたし、大学生なども来るようになつた。作家の白川渥氏と終戦後の暗黒時代から六甲の自宅附近で毎日のように撞いていたが、二十六、七年頃に開かれた灘区の撞球業者の組合主催の第一回四つ玉撞球大会に出てみごとに優勝した。決勝戦は白川氏は持ち玉八十点、相手は百二十点だったが、悠々と優勝してかねて欲しいと思っていたキューを賞品にもらつた。翌年も連続優勝したが、三年目は負けた。二年目の試合は賞品が浴衣（ユカタ）だったため大してほしくなかつたので気にせず撞いたのがかえつて幸いして勝つたわけだが、三年目は欲しい賞品だったので思わず緊張し過ぎて負けてしまつた。やはり勝負の時はリラックスな気持ちでないと勝てぬものだ、と同氏はつくづく覚つたそうだ。

戦後外人の間でもクラブなどで試合が盛んに行なわれていた。K.R.A.C. やインディアン・クラブ（インド人が主）塩屋カントリー・クラブ、中華クラブ、インディアン・ソシアル・クラブ（青谷）などでは毎年紅白試合が行なわれたものだ。また、スリーリー・クッショーン、ローテーション、四つ玉とも毎年プロ、アマの全日本大会が開かれているが、どの大会でも神戸の選手がよく活躍している。昨年の全日本アマ・スリー・クッショーン大会に優勝した木村選手も神戸の人である。このほか、昭和二十七年からはアマの兵庫県知事盃四つ玉争奪戦が神戸新聞、デーリースポーツ主催で、三十四年からは国際会館で近畿四つ玉争奪戦が行なわれたが、その後中止になつたことは惜しまれる。なお、県知事盃四つ玉争奪戦の記録は現在も元町二丁目の太白撞球場に残つてゐる。また、戦後から今日へかけて、青い目の水兵たちが市中の撞球場で撞いている風景がよく見られたが、どうも彼らのプレイぶりはあまり格好がよくない。その点、日本人

の方が姿勢がよく、目もよく効くようだ。

神戸の文化人仲間では、白川氏のほかには久本弘一（洋画家）、新谷秀雄（彫刻家）などがうまいが、東京では故火野葦平や安高徳藏氏あたりが上手だ、と曰ごろ白川氏は語つてゐたが、その火野氏が三十四年ごろ講演旅行でヒヨツコリ来神したことがある。この時、筆者（青木）は一夜故小松清らと共に火野氏のお伴をしてアルコールを飲み、日の出ビリアードで遊んだが、「ぜひ、白川氏と一緒に交えたい」という氏の申し出にもかかわらず、同氏はあいにくと白川氏が不在だったため手合はせが実現しなかつたことは実に残念だつた。その後、火野氏が他界されただけに、よけいにその感が深い。「あの時おれば、七本（三百五十点）は突くと豪語した火野氏と『世紀の一戦』が戦かれたのに」と、後日白川氏が私に語つたことも今は悲しい思い出である。ついでに、文章となつた玉突きのことを調べてみると、正宗白鳥の作品に「玉突」という短篇があるし、他にも玉突きのシーンが出てくる小説にちよいちよいお目にかかる。

最後に面白い話を一つ二つ紹介しておこう。玉突きが一番面白くてしようのない時期は五十か六十ぐらい撞く頃だといわれているが、白川氏がかつて某撞球場で知り合つた若い小学校校長にこれぐらいいの腕前の人人がいた。案にたがわず、なんでも丸いものでさえあれば玉突きの玉に見えるという熱中ぶりだつたが、運動会の時式台へ上がつたところ、なんと、生徒の赤帽、白帽がまさしく玉突きの玉に見えたそうだ。イヤハヤとんだイカレ話だと読者は思われるかもしれないが、白川氏自身もこれによく似た思い出があるそうだ。戦前のことだが、白川氏がまだ若くて教員をしていた頃、ある晩玉突きをすませて下宿へ帰る途中、ふと空を見上げると、北斗七星が玉にみえて仕方がなかつたそうだ。最近同氏はゴルフに転向しているが、ゴルフをやっていても玉突きの体験が非常に役立つとのこと。全く玉の「ご利厄」はスポーツ好きには一生ついて回るものらしい。（三九・五・二六）

神戸うまいもん巡礼

赤尾兜子

西洋料理の卷

料理に味第一はもろんである。しかし味にこだわる。その味を楽しむいいフンイキがあると、味はより冴え、気分もまた爽快である。

神戸は天恵で海と山にめぐまれてゐるから、その海と山、そして味、三拍子そろつた店が当然ほしくなる。そのくせ、現状はなかなかがない。

野町一)は、そうした興味を果たすに向いてゐる。北野町の坂道をのぼりきつたところにある北野タ

眼下に、神戸の街並とその向うに港が手にとるように見

人には、山、海はひとく印象的らしい。夜景もいい。す
ので、さほど食指を動かさないが、他郷からやつて来た

こし誇張していと、香港あたりの丘かにあるホテルで食事しているような感じと表現してもいい。ミュージックがつねにかそかにたたようフンイキの配慮もよしとよう。

ここでの美味は、ステーキである。ヘレ肉の四角ばかりの厚味のものを丸い形にし、ベーコンで巻いたスタイル。オーブンで二十分ばかりじんわり焼きあげる。ふつうのステーキとくらべると、まわりをつつんだベーコンの味が舌にまざつて乗るので、より脂っこい感触である。炒(いた)めボテトと野菜がつき、ランチのコースでとるとフロインド・リープのパンも出て一〇〇〇円。

フランス人は生焼きを好んで、ブランデーや赤ブドー酒を口にふくみながら、これをよく食べている。それからオードブルがいい。これだけ食べて帰るわけにはいかぬが、ついでには賞味をすすめたい。伊勢エビ、スマーラモン（鮭の燻製）など品ぶれも二十種ほどあるから。つまりこれらは、コックの柴田さんの腕になるのが美味たるゆえん。日本郵船の外国航路に乗り、船をあがつて、戦前のトーア・ホテルのチーフ、その後オリエンターホテル・グリルのチーフという経歴をもち、それだけ、仕事に幅広い見識と腕があるからであろう。

客すじは外人四割、日本人六割、大学の女子学生のトラブル・マナーを習うための会やいろんなパーティーにも使われている。秋ごろ拡張して百人ぐらい収容できるようになる。

料理というより、むしろ軽食といった方がいいのだが
ここでサンドイッチを披露しておきたい。

国鉄ガードを北へトア・ロードをあが

小売店を神戸に開いたのは、戦後だが、静岡に工場があると、未亡人の高橋女史が、いつさいを切り盛りし、スモーカサモン、ボンレスハム（ヒッコリーハム）ボロナ

ソーセージ、レバーソーセージなど自家製品の販売と、輸入チーズの数々を売っているが、店へくる客たちが、

こうした商品をテストするのに、サンドイッチをつまみたいというので、三年前から、店の奥の一隅ではじめたのが、このサンドイッチルームができたわけ。

というわけで、座席は、カウンターに十ばかり。

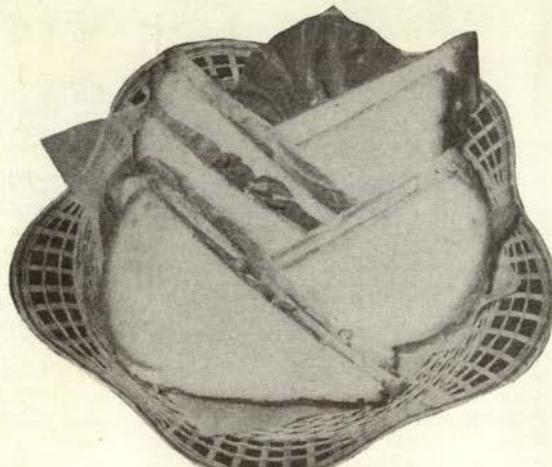
しかも、サンドイッチといつても、外見は、ごくぶつからぼう、パンのふちはついたまま、そこいらのもののように画一にきれいにそろっていない。ハムやソーセージが、パンからはみだしたりしている。竹カゴにのせて出る。ところが、その味は、およそ常識的なサンドイッチの味を、はるかに大きく抜いている。パンにはさんである中身が、全然ちがうからだ。中身によつて、ここまで味がちがう、私は、うたた感概を久しくしたものである。

その上、客の厚きかけんの注文を聞いてから、品物を切り、目方をはかつて、それで値段を決める、このこまかい神経の使いぶりも、当節のマスプロ時代にはなかなか

かにない風景。そこいらにも、おのずと店のあり方が反映しているというもの。

こうした店はえがたく、このサンドイッチもむろんえがたい。東京あたりから来た名士に、いちど賞味せられたら、おそらく日本一のサンドイッチと折紙をつけるのではないか。

値段は中身の厚さによつて、ちがいがあるが、大体のところは、二重ねでハム一五〇—一八〇円、ローストビーフ一六〇—二二〇円、各種ソーセージ、一二〇—一五〇円、輸入チーズ一二〇円、スマーケサモン一六〇—一八〇円で、手軽な一食分には、最適である。ただし店の方は「これで営業しているのではなく、いわば正味で、なじみ客との親睦の場が、サンドイッチルームのようなもので」という。サンドイッチだけを食べて帰つて、トがめられることはないが、店の良心も考えて、何か一品ぐらい、ハム、ソーセージなどを買い帰るも、エチケットといふものであろう。



写真上はデリカッセンのサンドイッチ



写真下はコラルキタノのキタノ・ステーキ

オヤジ紳士

文・竹田洋太郎
え・鳴居玲

青少年の不良化はいまや世界各国で深刻な問題となつてゐる。わが国では敗戦後、多くの人がやかましく対策を論じてゐるにも拘らず一向に実効が上がつてない。さらに、非行青少年といわれる子供たちの中で、最近では、中産、上級階級の子弟が多くなつてゐることが注目される。貧困より生ずる不良化は全般的な政策による改善をまつとしても、一般家庭、とくに紳士の家庭より、そのような子弟を出すことがあれば、紳士の恥といふより、父兄の紳士性の欠陥と見なしてもよいであろう。

青少年非行増加は、日本においては家庭における男性の地位の低下と奇しくも交叉線をたどつてゐることに気がつく。つまり「オヤジ」の値打ちが下がつたことが一つの原因と見なされる。

それは、父親が息子を厳しくしつけるという、日本古来の伝統、西洋騎士道の理想が行なわれないことを意味する。そして子供の教育が母親と学校との共謀により、いちじるしくゆがめられたのである。

そこでもし、正しい家庭と、正しい教育をめざすならば、母親と学校教師の陰謀を粉碎し、とくに男子に対しても紳士の訓練を施す権能を紳士である父親が回復しなければならないのである。

現在いうところの「試験地獄」はだれによつてつくられたかを考えて見よう。日本に教育制度が定つてから試験はつきものであつた。学校によつては競争は激しかつた。だが受験生も、父兄も、それを「地獄」とは考えていなかつたのである。試験をめざし勉強することも、

いわばスポーツの一種であり、落ちれば落ちたので適当なところを目指すべく、本人も父兄も割り切つてゐた。ところが現今「東大でなければ」とか「一流校でなければ」といふのは、まず母親である。そして子供を愛するふりをして、子供を「受験奴隸」の境遇におとしているのも母親である。しかも学校教師は母親の意志に迎合して「おたくの子供さんには家庭教師をつけなければ」等々、母親の理不尽な欲望をそそのかすが如き言辞を弄してゐる。

かくて大学入試に合格すると、母親は訪問着を着飾り意気揚々と入学式に参列する。戦前大学の入学式に母親が出席するのは、不幸にして身体の自由を欠いた学生の場合に限られた。

学校はかくして、母親の欲望に応える一種のレジャービジネス化している。一流幼稚園より一流大学まで、子供をボールとし、試験をピンとする母親のためボウリング場にはかならない。

そこで父親としてなすべきことは、紳士ならいうまでもなく子供を紳士とすることである。一言にしていえば子供が紳士として将来当然受けるべきイジワルを、できるだけ早い機会から行うことである。

かつて大名といわれた人も、わが子を雪の中で素足で歩かせた。(オール讀物六月号・子母沢寛の小説「香亭先生伝」参照)日本では皇族を軍人にするときめてあつたのは、天皇を大中帥とする組織の維持よりも、とかく軟弱に流れる皇族・華族の子弟に厳格な訓練を施すため

「別冊紳士入門図解」



「師走」ってえのは、まさか先生が、アルバイトではしりまわる事じゃないでしょうね。

ところで、こんな話がおまんね!!

息子の中学進学に就いて、父母会に出た私の友人は、担任の先生から、「おたくの息子さんは、家庭教師もつけていないから、A校よりC校の方が良いんじゃないですか……」と言われた。しかし、その家庭教師というのが自分の事。自分のクラスの生徒の家庭へ、おのが、ぬけぬけと家庭教師に行く。遇何回かで一円円也!! 全く馬鹿にするなってんだ。文部省等とよくけんかしている先生の組合等では、こんな事問題にしないのかね——。イイタカアナイガメンドウミテヨ!!

宝塚某小学校での話。

レイ・カモイ

であった。肉体的・精神的にイジメられてこそ、紳士たるの資格が生じるのである。現在、マスコミその他にイジメられても泰然たる態度を崩さない紳士の典型エジンバラ公は、無名の海軍士官として困苦欠乏にたえてきたことを忘れてはならない。

イギリスの紳士を育てるのは、イーストン校等パブリック・スクールであるが、これらではいまも尙、厳重な体罰が課せられているのである。紳士の資格は知識の豊かさでなく、イジワルに耐えぬく不撓不屈の精神と、正邪を判断する能力である。子弟にはカメラやステレオを買って与えるより、柔道着か木刀を買って与えるべきであろう。

母親と教師の共謀のいちじるしい例は教師への贈り物である。子供が学校に入ったからと担任教師に贈り物をするのが常識となっているが、教師への感謝の意味から

進級後、卒業後、世話をなった先生へならともかく、前に以って贈り物をするのは、汚職とはいえぬまでも、それに近いのである。筆者の先輩某氏は先生への贈り物を子供の進級、卒業後に限っている。もつて範とすべきに足る。

最近のように大学が簇生してくれば、近い将来、大学卒の学歴は意味がなくなるものと予想されるが、その時こそ、レディーメードの学歴をもたない若い紳士が、世のリーダーとなるだろう。そういう紳士を育てるのはオヤジである紳士の責任である。だからオヤジ紳士は毎朝木刀の素振り千遍を行つて、有効な一撃をときに子弟のオシリに加えられるよう鍛錬にはげまれたい。厳父慈母が紳士の家庭の理想であるが、現今は慈父嚴母の時代である。よろしくゴルフのクラブを木刀にかえるべきであろう。